

都立潮風公園・台場公園  
事業計画の見直し

東京臨海副都心グループ

## 目 次

### II 事業計画

#### 2 人員配置計画等

- (3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

#### 3 運営管理計画

- (1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組
- (2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法
- (3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組
- (4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案
- (5) オリンピック・パラリンピック後も見据えた公園の魅力向上の取組

#### 4 施設維持管理計画

- (1) 適切な維持管理を行うための取組
- (2) 事故及び自然災害、感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応
- (3) 要望やオリンピック・パラリンピック後も見据えた施設補修、施設改良への取組
- (4) 維持管理業務の進め方（潮風公園）

## II 事業計画

### 2 人員配置計画等

#### (3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

##### 1 指定管理者のノウハウを活かした人員体制

(1) 当グループの構成員である東京港埠頭㈱は、長年にわたり都市公園や海上公園等の指定管理業務の実績を積み重ね専門的な公園業務のノウハウを蓄積してきました。こうしたノウハウを支えているのは、公園業務に専門性や豊かな経験を持つ人材です。

本公園の管理業務を担う公園管理所には、行政の代行者として自覚と責任を持ち、パークマネジメントにも精通する業務経験の豊富な人材を配置します。

(2) また、指定管理業務全体の目標設定、実施状況、評価と業務への反映を担う「マネジメントチーム」を本社公園事業部に置き、本社と公園管理所が一体となった指定管理業務を効率的・効果的に推進します。

##### 2 社員の技術や能力向上に向けた取組

公園管理の水準を高めていくためには、継続的な検証と公園を取巻く社会状況の変化や都民等のニーズに機敏に反応し、的確に対応できる能力が欠かせません。当グループは、これまで培った公園管理運営のノウハウを土台として、社員一人ひとりが更なるスキルアップが図れるよう、以下の5つの分野で、研修等を通じた能力向上に取り組んでいきます。

##### 《5つの能力向上への取組》

分野	取組内容
行政代行能力の向上	指定管理者として求められる行政代行能力を向上させるための研修を実施します。 ●公園行政への一層の理解を深めるための講習会:年2回 ●社員各階層に求められる事務・技術研修:年2回
個人情報保護能力の向上	個人情報管理について、引続き厳格に対処するため、法令に則った情報セキュリティポリシーや個人情報保護に関する規程に基づく研修を実施します。 ●個人情報管理に関する研修:年1回 ●情報セキュリティポリシー遵守に関する研修:年1回
接客・接客能力の向上	社員の接客・接客能力向上のための接客研修・クレーム研修やバリアフリー研修を実施します。また、公園に寄せられた苦情・要望の対応結果をデータベース化し、社員間で共有することで、利用者サービスと社員の接客・接客能力の向上を図ります。 ●経験年数に応じた接客・接客研修:年1回 ●クレーム対応研修:年1回 ●バリアフリー研修:年1回 ●苦情・要望対応の実例を活用したOJT:年4回
維持管理能力の向上	維持管理能力の向上のため、土木・造園施工管理技士、樹木医、公園管理運営士等の資格取得支援のほか、技術力の向上を目的とした研修を実施します。 ●技術向上や安全管理のための内部、外部研修への参加:年5回 ●イベント企画運営に関する研修・OJT:年1回 ●各種資格取得の奨励・支援:適宜
危機管理能力の向上	公園管理者として事故や災害が発生した際の利用者の安全確保や新型コロナウイルス等の感染症予防対策などの危機管理能力を向上させる訓練や研修を実施します。 ●地震及び津波被害を想定した避難誘導訓練:年1回 ●RHDグループ等と連携した防災訓練:年1回 ●上級救命技能認定の全員取得及び更新 ●新型コロナウイルス感染症等の感染症対策に関する研修:適宜

### 3 運営管理計画

#### (1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

##### 1 潮風公園・台場公園の特性等

- (1) 潮風公園は、豊かな緑や海辺を眺めながらバーベキューを楽しめるなど、日常的に多くの都民に親しまれています。また、広大で開放的な太陽の広場では、その特性を活かして様々なイベントが開催されるなど地域における存在感を高めています。
- (2) 台場公園は、お台場海浜公園へのアクセスもよく、(公財)日本城郭協会より「続日本の100名城」に選ばれており、東京湾や臨海部の都市景観の眺望を楽しみながら散策できる観光スポットとして多くの都民が訪れています。
- (3) 昨今の「新しい日常」や「新しい利用ルール」の浸透により、近場で過ごす方が増加傾向にあることや、大型客船が停泊可能な東京国際クルーズターミナルの開業により、より一層公園の利用が高まるものと認識しています。
- (4) 2021年には、OP 競技大会の開催が予定されており、潮風公園はビーチバレー会場、台場公園は、隣接するお台場海浜公園がトライアスロン・マラソンスイミングの会場となるなど、大会を契機に国内外から多くの方が来訪すると考えています。

##### 2 潮風公園・台場公園の管理運営方針

これらの特性や環境の変化に的確に対応しながら、潮風公園・台場公園の管理運営の基本理念を実現していく上で、当グループが重視する管理運営の方針は以下の4点です。

- (1) 水と緑のネットワークを最大限に活かす公園づくり  
潮風公園からお台場海浜公園を経て、台場公園に至る空間は、連続している水と緑が美しい都市景観を創出していることから、水と緑のネットワークの魅力を重視した管理運営や利用促進策を展開していきます。
- (2) スポーツによる健康増進の場となる公園づくり  
潮風公園は、美しい港の景観の中でさわやかな潮風にふれながら、都心部の公園ではなし得ない様々なスポーツができる絶好のスポーツエリアであると考えます。  
OP競技大会後においても、広場やお台場海浜公園等との連続した立地を活かし、「新しい日常」や「新しい利用ルール」など環境の変化に対応したスポーツイベントを開催することで、スポーツ活動の機運を盛り上げ、都民の健康づくりに寄与してまいります。
- (3) 歴史・文化を活かした公園づくり  
台場公園は、国の文化財に指定されているため、文化財保護法やマネジメントプランにより、適切に保存管理します。また、様々な目的で臨海副都心の他の公園を訪れた多くの方に史跡や伝統文化を学び・楽しんでいただく取組みを行うとともに、観光振興の視点からも積極的に情報発信し、歴史・文化を活かした公園づくりに取り組んでいきます。
- (4) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会後も見据えた公園づくり  
ホームページやSNSを活用するとともに、公園管理所で近隣の商業施設や観光スポットの情報を提供するなど、公園に留まらず周辺地域を含めた案内機能を備えていきます。  
また、隣接する東京国際クルーズターミナルが開業したことに伴い、海外から来訪者がこれまで以上に増加すると考えます。このため、ターミナル内に潮風公園台場公園のパンフレットを設置する等情報発信を行う他、園内の受付窓口で多言語翻訳機の活用、案内板の多言語表記、ピクトグラム化を進めます。
- (5) 新型コロナウイルス感染症予防への適切な対応  
潮風公園・台場公園は、国内外から多くの方が来訪することから、公園管理所では、安定的なサービス提供を目的に、都の感染防止徹底宣言に基づきスタッフの罹患を防止します。  
来園者に対しては、園内掲示などにより「新しい利用ルール」を周知するとともに、ドアノブの消毒や消毒液の設置などの感染防止対策を行います。また、必要に応じ、密になることが予測される施設の利用制限も実施していきます。  
自主事業開催時は、国や都が定めるイベント開催の方針や関係団体等が定めるガイドラインを遵守した上で実施します。さらに、感染流行への備えとして、手指消毒薬等消耗品の十分な確保や感染症予防への社員教育の徹底など、万全を期していきます。

### 3 管理運営方針に基づく具体的な取組

#### 管理運営方針1 水と緑のネットワークを最大限に活かす公園づくり

- 潮風公園とお台場海浜公園の連続性を活用して潮風のバーベキューとお台場の釣りを組み合わせたイベントの開催
- 海辺や豊かな緑を活用した環境学習事業
- 海や緑の美しい景観など公園の見どころを巡るウォーキングコースの設置

など



#### 管理運営方針2 スポーツによる健康増進の場となる公園づくり

- 各種マラソン大会の開催
- 潮風公園の広々とした空間を活用した凧揚げ体験教室の実施
- 気軽にスポーツを楽しめる機会を提供する「潮風フィットネス」や「潮風・お台場ウォーキング教室」の実施

など



#### 管理運営方針3 歴史・文化を活かした公園づくり

- 台場公園の歴史や施設を紹介する「台場史跡パネル展」の開催
- 続日本100名城スタンプサービスの実施
- 日本の伝統文化を披露する「雪吊り」の実施
- 日本の伝統文化を体験する「門松づくり教室」の実施

など



#### 管理運営方針4 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会後も見据えた公園づくり

- 「東京お台場.net」による積極的な情報発信（地域全体で楽しめるイベント情報等）
- 東京国際クルーズターミナル内に台場の歴史を紹介するパンフレットを設置し、海外からの来訪者を台場公園へ誘致
- ホームページ・SNSによるイベント情報や開花情報などをタイムリーに発信
- 多言語翻訳機を使用した受付案内やピクトグラムを活用

など



#### 管理運営方針5 新型コロナウイルス感染症予防への適切な対応

- ソーシャルディスタンスの確保や咳エチケットなどの「新しい公園利用ルール」をホームページや園内掲示で周知
- 公園管理所窓口に手指消毒液の設置やドアノブ等共用部分の消毒など衛生管理を徹底
- 都や国が定めるガイドライン等を遵守したイベントの開催「パークヨガ」、「屋外シネマ」の実施

など



### 4 地元自治体やボランティア団体等との連携

広大な広場を有する潮風公園、史跡である台場公園、砂浜や水域を有するお台場海浜公園を一体的に活用し、それぞれの価値を一層向上させるためには、都民や地域との連携による管理運営が重要であると考えます。そのため、地元区・隣接区、NPO、企業等との協働によるイベントや環境美化活動等を効果的に実施していきます。

さらに、水と緑の資源を活用した環境学習事業等を実施する場合は、近隣の小学校・保育園等に呼びかけるなど、地域と深く連携した取組みを推進していきます。

【具体的な取組例】:企業・学校等と協働する清掃活動、公園の資源を活用した環境学習

## (2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

### 1 苦情・要望は、様々な手段により的確に把握します

定期的な CS(顧客満足度)アンケートを実施するほか、HP上の専用フォーム、電話またはFAX、郵便、現場の直接対応・意見箱の多様なチャンネルで利用者の声を収集します。

### 2 把握した苦情・要望は、その内容や緊急度に相応しい手順で対応を行います

苦情・要望は、公園に関わる法令や「対応マニュアル」をもとに公平・公正の視点に立って対応します。具体的には、以下のような視点から検証します。

- (a) 公園の方針やルール、管理水準に照らしてどうか
- (b) 他の利用者への影響はどうか
- (c) 特別な利害があるかどうか
- (d) 個人的あるいは一時的かどうか など

苦情や要望等が生じた場合は、まず、緊急を要する内容か否か、指定管理者の判断で処理できる範囲か否かを見極めます。

指定管理者の判断で処理できる範囲の場合、緊急・即対応の案件は、速やかに対応し、関係者との調整を要する案件は、マネジメントチームが東京都と連携して処理方法を決定し、対応結果を東京都に報告します。

なお、苦情・要望は、個人情報の保護を徹底することを前提に、ご意見の内容とその対応を分類し、データベースとして蓄積することで、社員研修やマニュアル改訂の業務改善に役立てます。

### 3 苦情・要望は検証・評価の上、必要に応じて業務に反映させます

苦情・要望は、下記のPDCAサイクル活動によって、公平・公正の観点から検証・評価します。

その結果、改善が必要と思われる事案は、業務に反映させるとともに、対応結果について適宜情報発信し、利用者の利便性向上に役立てます。

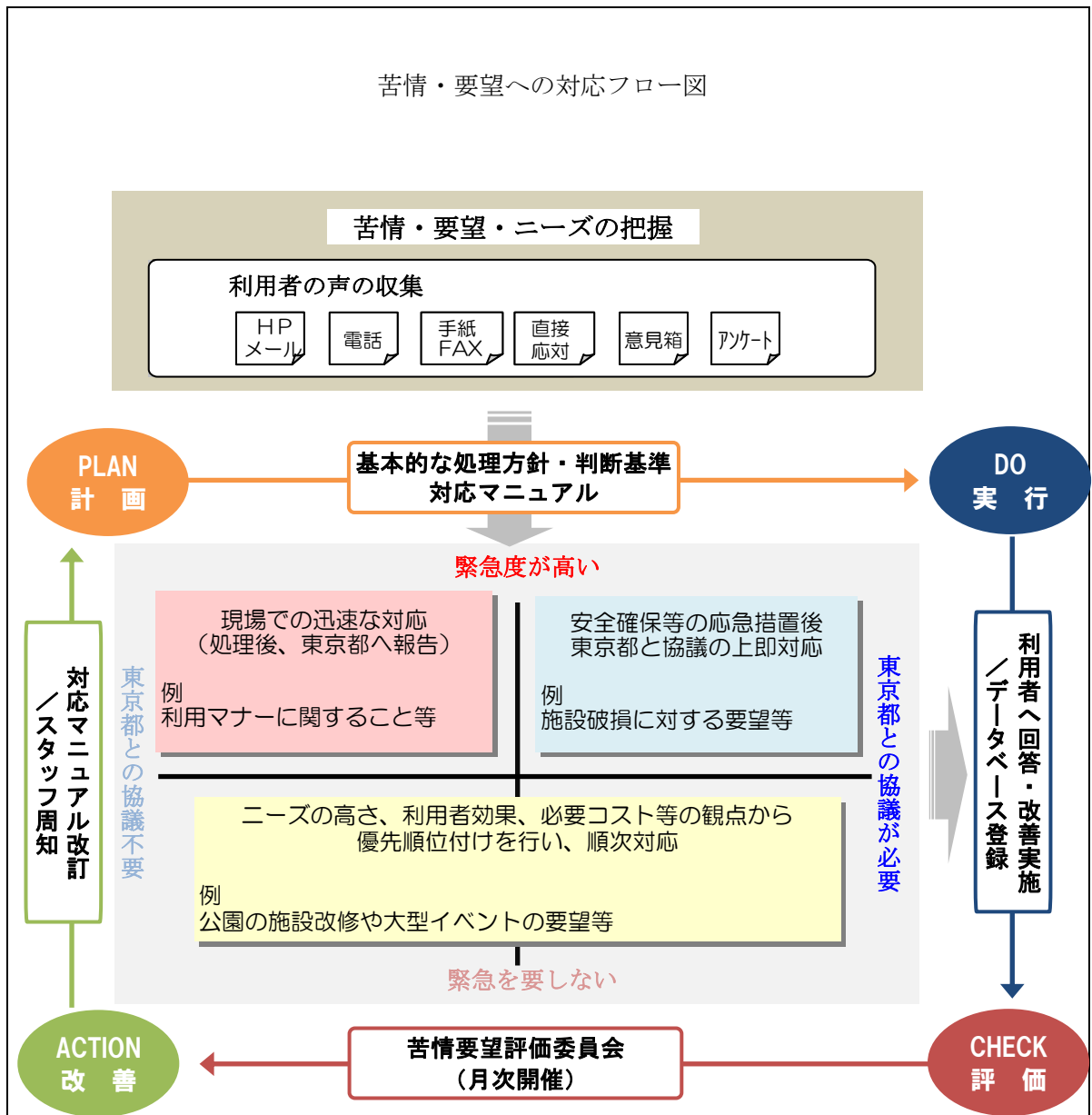
[計画：P] 基本的な処理方針や判断基準を定めます。

[実施：D] 方針に基づき、苦情等の対応を行い、当社が運営する全ての公園の経過や対応結果を組織全体で共有し、安定したサービスを提供していきます。  
また、対応結果について、施設内掲示等により利用者へ情報発信します。

[評価：C] 対応結果について、東京港埠頭(株)公園事業部幹部社員で構成される「苦情要望評価委員会(月次開催)」にマネジメントチームが報告し、評価、検証します。

[改善：A] 改善の必要がある場合は、「対応マニュアル」を改訂し、スタッフに周知することで同じ問題を発生させないようにします。

苦情・要望への対応フロー図



4 利用者へのルール指導について

- (1) 公園は、散策・釣り・水遊び・バーベキュー・ランニング・撮影・イベント実施など様々な目的で利用されています。利用者に快適に楽しんでいただくためには、公園利用の基本事項や感染症対策についてご理解、ご協力をお願いすることが不可欠です。そのため、ホームページでは、よくある質問や公園別Q&A等を掲載・周知します。  
公園管理所では、巡回時の不適正利用への注意、利用マナー向上へのお願い等を行うことにより、快適な公園利用を促進します。また、路上生活者には、東京都と連携して自立を促すなどの適切な対応を行います。
- (2) 潮風公園では、ランニングや音楽のイベントが数多く開催されています。東京都と連携し、公平性や安全性を確保するため、イベント利用の取り扱いについて潮風公園独自のルールを定めました。今後も、公園の利用状況を把握し、東京都と必要な調整を重ねていきます。  
また、イベントや工事が行われる際には、案内を充実させるなど、一般利用者の安全を第一に設営から現状復旧までの占用指導・現地確認を行います。
- (3) 新型コロナウイルス感染症への適切な対策として、来園者に対しては、園内掲示などにより、ソーシャルディスタンスの確保、咳エチケット、手洗いなどの周知を行います。

(3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

1 潮風公園・台場公園の特性

- (1) 潮風公園は、豊かな緑と美しい海辺の景観が楽しめるバーベキュー広場や子供たちが水遊びを楽しめる噴水広場等、多様な施設を有し、様々な世代の利用者に親しまれています。また、海に面し広大で開放的な太陽の広場は、規制緩和により民間事業者と連携した大型イベントなど多彩な催しが開催され、本公園の利用促進に大きな役割を果たしています。
- (2) 台場公園は、江戸末期に築造された砲壘跡であり、国の文化財に指定される他、(公財)日本城郭協会より「続日本の100名城」に選ばれています。また、臨海副都心の中でも憩いの場や歴史を味わえる観光スポットとして国内外から多くの方々が訪れています。
- (3) 潮風公園・台場公園は、お台場海浜公園と水と緑のネットワークを創出する中核的役割を担う公園群であり、東京湾の美しい景観や OP 競技大会の会場として、海外に通じる知名度を有するなど他にはない特性を持っています。
- (4) 昨今の「新しい日常」や「新しい利用ルール」の浸透により、近場で過ごす方が増加傾向にあることや、大型客船が停泊可能な東京国際クルーズターミナルの開業により、より一層公園の利用が高まるものと認識しています。

これらの特性を踏まえて、更に魅力を高める取組みを以下のとおり積極的に展開します。

2 具体的な提案

【利用促進を図るための取組】

項目	名称	事業内容
水と緑のネットワークを活用した利用促進	☆ウォーキングコースの設置	海や緑の美しい景観など公園の見どころを巡るウォーキングコースを設置
	☆環境学習事業(※)	海辺や豊かな緑の資源を活かした環境学習教室
	潮風BBQ & お台場釣り教室(※)	潮風公園でバーベキューを楽しむとともに、お台場海浜公園の磯浜で釣り教室を開催するセット企画
スポーツイベント等による利用促進	潮風フィットネス	在宅ワーク・加齢による運動不足を解消する手軽なストレッチや軽負荷の運動を紹介・体験するイベント
	☆凧作り凧揚げ体験教室(※)	凧の制作と凧揚げ体験を実施するとともに、スポーツカイトや大凧の実演を交えたイベント
	パークヨガ	季節に応じて早朝やサンセットなど公園の魅力を実感しながらヨガを行うイベント
	お台場海浜マラソン(※)	潮風公園からお台場海浜公園まで連続するコースを活かし、幅広い年齢層を対象にしたマラソン大会
	お台場駅伝競走大会(※)	潮風公園からお台場海浜公園まで連続するコースを活かし、仲間とタスキを繋ぐ駅伝競走大会
	潮風・お台場ウォーキング教室	ウォーキング愛好家やこれから始める初心者向けに服装・シューズ等の選択やアドバイスをする教室
歴史・文化を活かした利用促進	☆台場史跡パネル展	台場公園の歴史をお台場海浜公園にてパネル展示等で紹介
	☆雪吊りの披露	台場公園の松に雪吊りを実施し、日本の伝統文化を披露
	☆門松づくり教室(※)	日本の伝統文化を体験する門松づくり教室
	ゴミ拾いイベント	台場公園の歴史を紹介しながら、台場公園とお台場海浜公園を清掃するイベント
多彩なイベントによる利用促進	屋外シネマ	開放的な公園広場で開催する野外映画上映会
	防災キャンプ体験教室	アウトドアグッズを活用した防災キャンプの体験

☆指定管理業務として行うイベント等

※コロナ感染拡大の終息など開催の条件が整った場合開催



【サービス水準を向上させる取組】

項目	名称	事業内容
サービス水準向上のための取組	☆臨海副都心の総合的な情報発信	本公園を訪れる利用者は、公園でのレクリエーションだけではなく、近隣の大規模商業施設や大小様々なイベントも楽しむことができるメリットを持っています。 当グループは、臨海副都心におけるこれまでの公園管理業務やまちづくり協議会等との強い信頼関係を活かし、地域全体を楽しめる情報をホームページやパンフレット等を通じて公園に訪れた利用者に提供していきます。
	☆各種公園マップ等の公開及び配布	○ 各種公園マップの公開及び配布 ・夜景などを楽しむことができるビューポイントを記したマップ ・バリアフリーマップ ・水と緑のネットワークを活かしたウォーキングコースマップ ・史跡としての歴史を紹介するチラシ ○ 公園から見ることのできる、コンテナ埠頭や大型船などを紹介する案内板の継続設置
	☆ホームページ・SNSによる情報発信	○ ホームページによるイベントカレンダー、公園の見どころ紹介、写真撮影等に適した情報提供、公園 Q&A などの情報を充実させ公園の魅力を発信 ○ SNSを活用し、イベント、花の開花や公園利用に関する情報をタイムリーに提供
	☆アメニティー巡回の実施	巡回時に、利用者への声かけにより公園や周辺施設の案内等を行い、親しみをいただくとともに、トイレの不具合や施設の損壊等に迅速に対応しサービスの向上を図ります。
	☆多言語での案内、ピクトグラムの活用	公園を訪れるすべての方が公園を快適に利用して頂くため、多言語の翻訳機などを活用し、公園での受付を多言語対応するとともに、外国語ホームページの施設紹介などの内容を更新します。また、ピクトグラムを活用し、多様な方が公園を利用しやすい環境を整えます。

☆指定管理業務として行うイベント等

### 3 利用案内や情報発信

#### (1) 利用案内

ホームページでは、潮風公園は水と緑のネットワークが持つ魅力的な景観や施設、台場公園では史跡としての歴史等を紹介していきます。また、アクセス、バーベキュー場や駐車場など、利用者が求める情報を分かりやすく掲載します。そのほかに、「新しい利用ルール」を掲載し、利用者に対して新型コロナウイルス感染症対策への協力をお願いしていきます。

また、海外の方にホームページを閲覧してもらえるよう、多言語による掲載を行います。公園管理所では、各種公園パンフレットや利用情報案内を行うとともに、SNSも活用したイベントや花の開花情報などタイムリーな情報を提供します。

#### (2) 情報発信

他の都市公園では味わえない特長や臨海副都心を楽しむための近隣施設のイベント情報等を、多様な媒体を活用して積極的に発信していきます。また、OP 競技大会工事等で閉鎖している間も園内の花の開花情報などを SNS で発信することで、大会後に多くの方に来園いただけるよう努めていきます。

ホームページ等	HP・SNSによるリアルタイム情報の提供 ・イベントカレンダーの掲載 ・四季折々の花情報等の掲載 ・東京お台場.net への情報掲載 ・台場公園の歴史情報を紹介
広報	多様な媒体を活用した情報発信 ・広報東京都への情報掲載 ・地域ミニコミ紙 ・公共交通機関と連携したイベント情報の発信 ・まちづくり協議会と連携した情報発信 ・地元小中学校への情報提供 ・公園やスポーツ関連施設、観光関連施設などとの相互案内 ・情報配信サービス、フリーペーパーを活用したイベント情報の発信

(4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

◆自主事業計画

- 臨海副都心は、海外にも通じる「お台場」の知名度があるとともに、街と港が織りなす景観や砂浜等の水辺、商業施設や教育文化施設、さらに、進出事業者等の所有するオープンスペースなど様々な資源を有しています。  
また、潮風公園からお台場海浜公園を経て台場公園に至る空間は、水と緑が連続する美しい景観を創出しています。  
潮風公園には、広大な広場があり、お台場海浜公園と連携したイベントが開催でき、回遊性が得られるのも大きな特長です。
- 当グループは、こうした資源を活用し、イベント等の企画や運営を計画的に行うことで、公園の魅力向上に繋げていくことが重要であると考えます。
- そこで当グループは、(A)潮風公園の太陽の広場を中心に様々な世代が楽しめる事業、(B)お台場海浜公園との水と緑のネットワークを活かした自主事業を展開し、公園の魅力向上と利用促進を図っていきます。

開催場所	自主事業の名称	事業内容	資金調達手法
(A) 潮風公園	屋外シネマ	開放的な公園広場で開催する野外映画上映会	参加料・協賛金 (実費相当)
	防災キャンプ 体験教室	アウトドアグッズを活用した防災キャンプの体験	参加料・協賛金 (実費相当)
	パークヨガ	季節に応じて早朝やサンセットなど公園の魅力を実感しながらヨガを行うイベント	参加料・協賛金 (実費相当)
	潮風フィットネス	在宅ワーク・加齢による運動不足を解消する手軽なストレッチや軽負荷の運動を紹介・体験するイベント	参加料・協賛金 (実費相当)
(B) お台場海浜公園と一体的に実施するもの	お台場海浜マラソン	潮風公園からお台場海浜公園まで連続するコースを活かし、幅広い年齢層を対象にしたマラソン大会	参加料・協賛金 (実費相当)
	お台場駅伝競走大会	潮風公園からお台場海浜公園まで連続するコースを活かし、仲間とタスキを繋ぐ駅伝競走大会	参加料・協賛金 (実費相当)
	潮風・お台場ウォーキング教室	ウォーキング愛好家やこれから始める初心者向けに服装・シューズ等の選択やアドバイスをする教室	参加料・協賛金 (実費相当)
	潮風BBQ & お台場釣り教室	潮風公園でバーベキューを楽しむとともに、お台場海浜公園の磯浜で釣り教室を開催するセット企画	参加料・協賛金 (実費相当)
	ゴミ拾いイベント	台場公園の歴史を紹介しながら、台場公園とお台場海浜公園を清掃するイベント	協賛金

## (5) オリンピック・パラリンピック後も見据えた公園の魅力向上の取組

### ◆ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会後も見据えた魅力向上の取組

潮風公園はビーチバレー、台場公園は隣接するお台場海浜公園がトライアスロン及びマラソンスイミングの競技会場として予定されていることから、O P 競技大会を契機に、国内外から多くの方が来訪されると認識しています。

そこで、当グループは、企業等と積極的に協働・連携して、誰もがスポーツに親しみ、交流する機会や日本の文化にふれあう機会の提供など、公園の特長を活かした次のような事業を展開し、公園の魅力向上に取り組んでいきます。

#### 1 公園の魅力向上とおもてなし

##### (1) 情報発信ツールの多言語化

外国人利用者を含めた多くの方が公園を安心して快適に利用できるよう、ホームページやパンフレット等の情報発信ツールを多言語化します。また、公園の外国語ホームページは、園内施設の紹介を充実させるなど大会後も海外の方に来園してもらえるよう努めていきます。

##### (2) 多言語での受付案内やピクトグラムを活用

公園を訪れるすべての方が快適に利用して頂くため、多言語の翻訳機などを活用し、受付案内を多言語で行います。

また、園内の案内掲示を多言語・ピクトグラム化していきます。

#### 2 スポーツに親しむ機会の創出

##### (1) 潮風・お台場ウォーキング教室

潮風公園からお台場海浜公園、シンボルプロムナード公園などをめぐるウォーキング教室を開催します。

四季を彩る公園の花々や潮風公園からお台場海浜公園と続く景観を楽しんで頂きながら初心者からベテランまで幅広く楽しめるウォーキングコースをご案内し、臨海地域の周遊性の向上に寄与します。

また、太陽の広場を活用したグッズの紹介などウォーキングに関連する幅広いニーズに答える催事を開催します。

##### (2) 潮風フィットネス

潮風公園太陽の広場で、ソーシャルディスタンスに配慮した健康増進イベントとして、明るい日の光の下でさわやかな風を感じながら屋内とは異なる趣のフィットネス教室を開催します。

コロナ禍による在宅ワークの浸透から、昨今在宅でのエクササイズ人口が増加しており、ストレッチや自宅で取り組める自重トレーニングなど正しいエクササイズを指導、実践する機会を提供し、都民の健康維持・増進に寄与します。

#### 3 日本文化の発信

##### (1) 雪吊りの設置

観光地として多くの外国人が訪れる台場公園に、日本の伝統文化を披露する雪吊りを設置するなど、国指定の文化財に相応しい歴史や文化を感じられる取組みを展開します。

##### (2) 門松づくり教室

公園スタッフが長年の公園管理で培った造園技能を活かし、日本の正月の風物詩である門松を制作する教室を開催し、日本の文化にふれあう機会を提供します。

#### 4 水と緑の資源を活かした自然環境とのふれあい

公園の歴史や剪定された樹木のリサイクルを学ぶとともに、樹林地や海などで息づく生物の観察会など、公園の生物多様性について身近で楽しく学べる環境学習の場を提供していきます。

#### 5 環境美化活動を通じた都民・企業との協働

都民や企業等と連携し、公園の清掃活動を実施します。大会期間中や終了後も継続していくことで、海外からのお客様を良好な景観でお出迎えするとともに、都民や企業のボランティア文化の醸成に寄与します。

## 4 施設維持管理計画

### (1) 適切な維持管理を行うための取組

#### 1 潮風公園・台場公園の公園施設の機能

維持管理を実施するにあたっては、以下のような施設の基本機能を理解し、その機能を十分に発揮させ、更には価値を十分に高めていくことを目指します。そのため、これまでのノウハウと万全の体制をもって質の高い維持管理を実施します。

公園	施設	機能
潮風公園	多目的広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なイベントを受け入れる広場</li> <li>休憩やスポーツなど様々な利用に対応する広場</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京湾の眺望や豊かな緑の景観を楽しみながら散策できる空間</li> <li>植栽、噴水、カスケード、バーベキュー広場等の多彩なレクリエーション施設</li> </ul>
台場公園		<ul style="list-style-type: none"> <li>東京湾や臨海部の都市景観を眺望できる憩いの場</li> <li>国指定の文化財として歴史・文化について理解を深める場</li> </ul>

#### 2 安全・安心と快適性を重視した維持管理

施設を適正に維持管理するにあたっては、東京都の維持管理方針、マネジメントプラン、仕様、運営方針等に基づくとともに、これまでの維持管理実績のノウハウを結集した独自の「維持管理ガイドライン」を活用し、利用者の安全・安心と快適性を重視する維持管理を基本方針とします。

##### (1) 日常管理での取組

###### ① 利用者の安全確保

ア 施設の日常点検や定期点検に加え、予防管理の手法を基本とした独自の「パークメンテナンス方式」(別図1)参照)を活用し、修繕履歴から不具合傾向の把握や施設の劣化等を予測した上、計画的な修繕や部品交換を行うなど、利用に影響を及ぼさないよう、きめ細やかな維持管理を行います。

イ 潮風公園・台場公園は、特徴である水際施設を有しているため、護岸の陥没や亀裂の有無、柵の不具合、救命施設(浮環や梯子)の設置状況等といった施設の日常点検を徹底し、不具合や異常の早期発見と迅速かつ的確な対応を行います。

ウ 緑地管理については、それぞれのエリア機能に合わせた剪定等を行い、植物の生長や季節に応じて形状を予測するとともに、園内照度や見通しを確保しながら景観のみならず地域の防災や安全にも配慮した管理を行います。

###### ② 利用者に満足いただける快適性

ア 臨海副都心の一角を占め、国内外から来訪者が多いことを踏まえ、清潔かつ美しい景観でお迎えすることが維持管理を行う上で重要です。このため、きめ細やかでタイムリーな清掃、健全な生育と景観形成を追求した緑地管理などにより、快適で美しい潮風公園・台場公園の維持管理に積極的に取組みます。

特に、潮風公園南側のソメイヨシノの並木をはじめ、品川台場建設 100 周年を記念して植栽されたサクラなどは、海辺の埋立地という特殊な環境にあることから、被圧による枯れ枝処理を適切な時期に行う等、臨海副都心のサクラの名所に配慮した維持管理に努めます。

イ 台場公園は公園全体が国指定史跡であることから、土塁上のクロマツは「仕立て」など高いレベルの剪定を計画的に行うとともに、芝生の刈高を工夫して柔らかさを醸し出すなど、遠景として品格ある姿を演出し、国指定史跡として配慮した維持管理に努めます。

ウ 維持管理活動全般にわたり環境や福祉への配慮を重視します。例えば、剪定作業により発生する枝葉をチップ化しマルチング材(防草材)として利用することで、景観や環境にも配慮します。また、ユニバーサルデザインや福祉のまちづくりの観点から、多言語表記や段差解消など、誰もが安全・安心、かつ快適に利用できる公園づくりを行います。

(2) 緊急時の対応

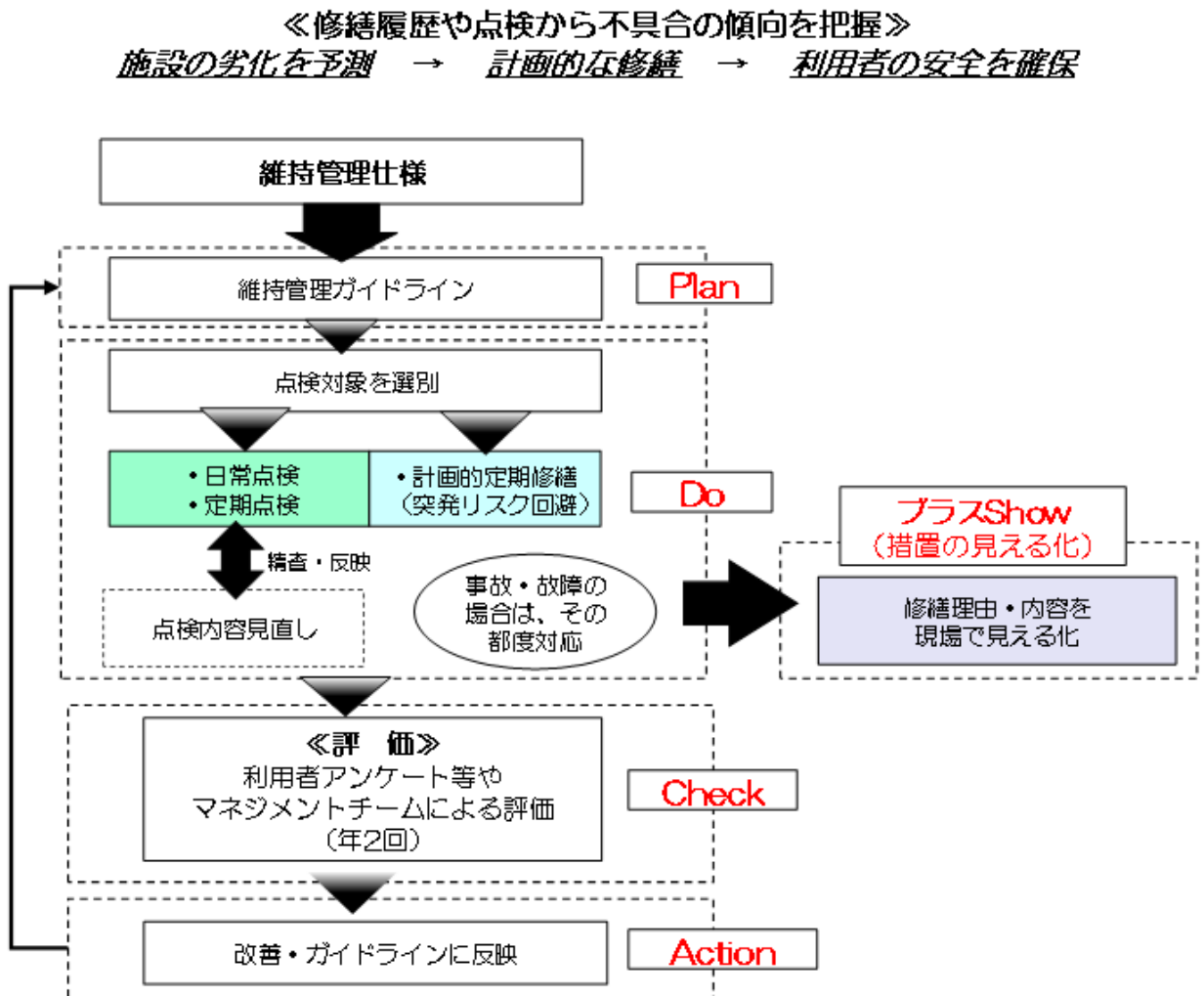
突発的に不具合等が発生した際は、利用者誘導や立入禁止措置など迅速に利用者の安全を確保します。その後、修繕理由等を掲示し、専門的知識・経験を持つ機動補修チームが「維持管理ガイドライン」に基づき、修繕や応急措置を行います。また、時間を要する抜本的な課題がある場合には、マネジメントチームが中心になり、東京都と協議の上、実施主体、方法や期日を明確にします。

(3) 公園閉鎖時における維持管理

潮風公園は、OP競技大会の開催にともない、全面閉鎖することから、工事占用部分の緑地維持や清掃の面積並びに回数を見直し、大会会場主導線部や会場周辺の景観木(クロマツやデココ)の剪定を重点的に実施することで、快適な利用空間の提供に繋がります。

〈別図1〉

「パークメンテナンス方式」



## (2) 事故及び自然災害、感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応

### 1 事故を未然に防ぐための安全対策

施設利用や維持管理において想定される事故に対しては、防止策を講じ安全管理を徹底します。

想定される事故	防止策
夏季における熱中症 バーベキュー場での火傷	受付窓口・巡回時での声掛け、園内放送による注意喚起 BBQ 事業者との連携
水際での水難事故	水際施設(園路、安全柵、救命浮環等)の巡回点検の徹底 上級救命講習の受講、BBQ 事業者との連携
樹木の生育や園路状況等に起因する事故	予防管理の考え方を柱としたパークメンテナンス方式による 維持管理の徹底
樹木剪定作業中の落下事故 草刈作業時の飛散物による事故	事前の作業打合せの徹底、安全装備の着用 利用者への事前周知、作業区域の明確化

### 2 気象災害や感染症に対する事前の備え

- (1) 気象警報の発令等、台風、大雨や大雪等が予測される場合は、事前に園内全域を巡回点検し、必要に応じて、倒木回避のための剪定、飛散物の有無の確認等、事前措置を実施するとともに、利用者がある場合は、注意喚起を行い、速やかに避難するよう促します。
- (2) 雷注意報発令時には、園内放送等で利用者に注意喚起を行い、避難場所へ誘導します。
- (3) 感染症等については、新型コロナウイルス感染症やデング熱、高病原性鳥インフルエンザへの対応が特に重要と考えます。これらについては、東京都が作成した「事業者向け東京都感染拡大防止ガイドライン」「施設管理者向け 蚊の発生防止対策」「東京都蚊媒介感染症対策行動計画」「鳥インフルエンザ対応マニュアル」等に基づき、感染防止・予防対策、発生時の対応に適切に取り組めます。

さらに、来園者に対しては、アルコール消毒液や虫よけスプレーを公園管理所に設置し、使用を呼びかけるなど、様々な感染症予防にも取り組んでまいります。

### 3 事故が発生した場合の応急対応

事故が発生した場合は、初動体制を確立し、迅速かつ適切な応急措置を行い、影響を最小限に留めます。(別図2参照)

#### (1) 日常で発生した事故

日常で怪我や病気が発生した場合は、必要に応じ救急要請をするとともに、上級救命技能認定の資格を有する社員が迅速かつ適切に応急処置を行い、東京都・関係機関へ速やかに報告を行います。また、公園管理所にAED・救急箱を常備し、救命研修を行い常に社員スキルの向上を図り、事故対応に万全を期していきます。

#### (2) 公園機能に影響をもたらす事件・事故

台風、大雨、大雪や落雷等による施設損壊、倒木等の被害には、機動補修チームや維持管理の専門チームがスピーディーに対処します。また、事件・事故発生時は、初動に正確性を期し、警察・消防への迅速な連絡・対応を行い、東京都及び関係機関へ速やかに報告します。

#### (3) 社会的影響の強い事件・事故

公園の大規模損壊等は、社会的影響が想定されるため、対策本部を本社に設置し、本社と現場の社員が一丸となって対応していきます。また、当公園は東京港のふ頭施設に近接していることから外来種であるヒアリが発見された場合には、「ヒアリ同定マニュアル」に基づき、迅速・適切に対応します。なお、東京都・関係機関との連絡には専用回線を確保し、情報の混乱を防ぐとともに、迅速な情報交換を行っていきます。

#### 4 地震等発災時における対応

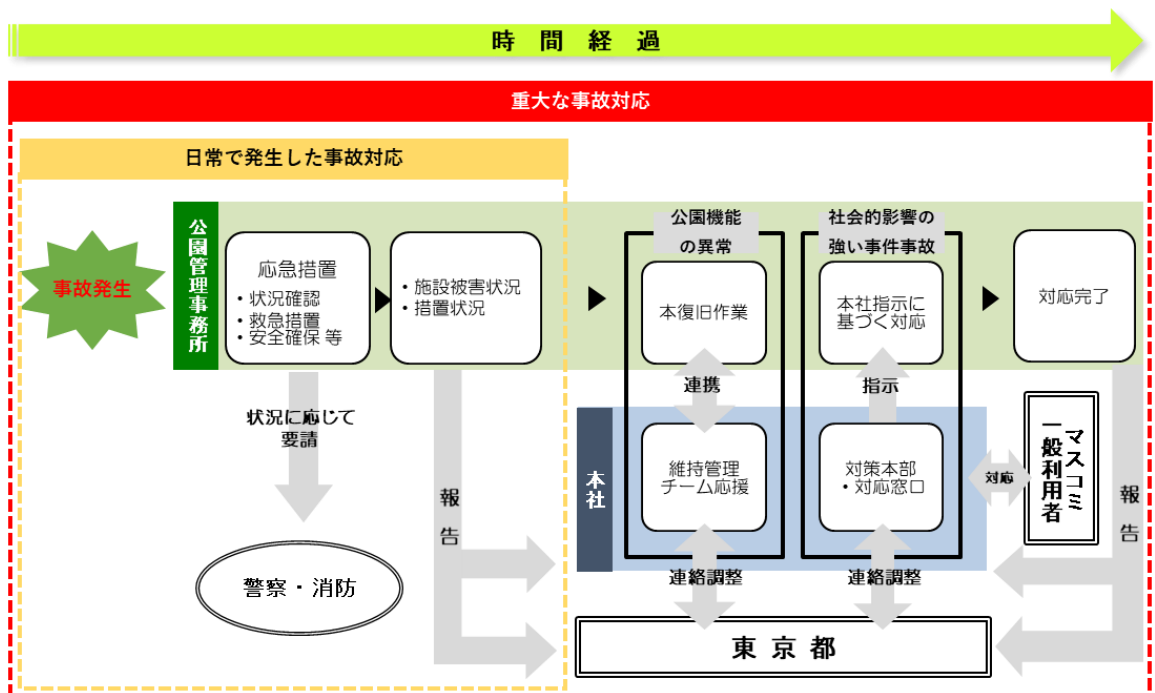
- (1) 地震等発災時には、当グループが策定した「大規模地震発生時初動対応マニュアル」及び「緊急時アクションマニュアル」に基づいて、公園利用者の安全確保を最優先にした上で、現場対策本部を立ち上げ、通信手段を確保し、現場の状況を本社に伝達するとともに、必要に応じて消防等関係機関に連絡するなど、迅速な対応を行います。また、公園管理所と本社が連携し、公園内の施設点検及び安全措置を迅速に行います。
- (2) 本社に公園全体を統括する対策本部を設置、指揮命令、情報を一元化し、関係機関との連携体制を整え、東京都に正確な情報を伝達します。
- (3) 臨海副都心内の公園は、地震等発災時に多くの避難者や帰宅困難者が集まることが想定されます。このため、公共交通機関の運行情報の提供、お台場海浜公園などの近隣一時滞在施設への的確な誘導など、避難者や帰宅困難者の安全確保に全力を尽くし積極的に支援します。
- (4) 発災時には関係機関との通信手段が途絶えることを想定し、公園管理所と本社、お台場海浜公園間に災害用無線・災害用携帯電話を常備するとともに、東京都及び当グループの各社には専用回線を独自に敷設しています。

#### 5 防災訓練の実施

発災時は、臨海副都心地区内の公園に来訪者・就業者・居住者が集まることを想定し、簡易トイレ設営、一時滞在施設の開設情報や公共交通機関の運行情報の提供、お台場海浜公園などの近隣の一時滞在施設への誘導など、的確に対応するために防災訓練を実施します。

例：RHDグループ共同防災訓練（東京都や東京臨海副都心まちづくり協議会との連携を含む）

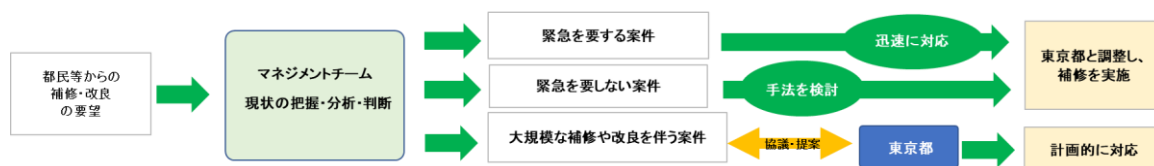
#### 〈別図2〉



### (3) 要望やオリンピック・パラリンピック後も見据えた施設補修、施設改良への取組

#### 1 都民からの施設改良などレベルアップに関する要望への基本的な考え方

- (1) 当グループは、都民等から修繕要望を受ける前に、計画的・先行的修繕により突発事故の発生を抑止する予防管理の考え方を柱とした独自のパークメンテナンス方式を活用して、常に良好な施設の状態を実現していきます。
- (2) 公園利用の変化に伴う施設の補修・改良など、既存施設の形状、数量や機能を向上することを目的とした要望に対しては、現状を把握し、マネジメントチームが速やかに分析・判断するとともに、東京都に報告しながら以下のとおり迅速かつ誠意をもって対応します。
  - ① 緊急を要する案件  
緊急案件は、利用者の安全を第一優先とし、現場への立入禁止等の保全措置を行い、東京都と調整しながら迅速に対応します。
  - ② 緊急を要しない案件  
要望等の趣旨と現場の調査確認を行った上で、マネジメントチームと手法を検討し、東京都と調整しながら機動補修チーム及び専門業者が、迅速に対応します。
  - ③ 大規模な補修や改良を伴う案件  
マネジメントチーム及び技術的知見を持つ東京港埠頭(株)技術専門部門による検討会を実施し、東京都や関係者と協議を進める中で、必要な提案を行っていきます。合意のできた案件については、可能な範囲で計画的に対応します。



#### 2 オリンピック・パラリンピック競技大会後の施設補修、施設改良に対する基本的な考え方

OP競技大会のビーチバレー会場として利用される潮風公園は、大会後もその跡地に多くのお客様の来訪が予想されることから、水と緑のプロムナード等がある南地区を含めた公園全体の安全・安心の確保と美しい水と緑で囲まれた公園を維持することが重要と考えます。

そこで、再整備された施設に対しては、独自のパークメンテナンス方式を活用した維持管理に積極的に取り組むとともに、環境や福祉への配慮も重視し、多くの人々が美しい公園の景観を楽しんでいただけるよう取組みます。また、都民等から寄せられる施設の補修・改良などの要望に対しては、東京都へ報告・協議の上、必要に応じて対応していきます。

なお、再整備工事は長期間にわたると想定されることから、都民に対して工事のスケジュールを発信するとともに、問い合わせ等についても丁寧に説明していきます。

#### 3 支出については、以下のカテゴリーに分け的確に対応

- (1) 30万円未満の修繕  
30万円未満の修繕は、利用者の安全性に関わるものを第一優先に、迅速に対応いたします。
- (2) 30万以上の修繕  
30万円以上の修繕については、東京都へ提出する年間修繕計画に基づき実施し、計画書に記載がない緊急修繕が発生した場合は、既存計画との整合性や優先順位付けなどについて、東京都と協議し、対応いたします。
- (3) 緊急事態への対応  
緊急事態には、安全性を第一に、事実関係を速やかに調査し、応急措置を実施します。根本的な課題や大規模な形状、数量や機能の変更を伴う案件については、マネジメントチームが中心となり、東京都と協議の上、実施主体や方法を明確にします。この場合においても、当グループは可能な限り柔軟に対応できるよう取組んでまいります。



(4) 維持管理業務の進め方

潮風公園の維持管理について植物管理と施設管理に分けて記入してください。

植物管理については標準的な作業時期をバーで示すとともに作業内容を記述して下さい。

施設管理については点検・作業内容や標準頻度、留意点等を記述してください。

区分	対象施設／設置場所等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
植物管理	芝刈・草刈	広場	■		■	■		■	■				
	低木手入れ	園内全域		■	■	■		■	■				
	樹木手入れ	園内全域			刈込			徒長枝刈込				■	■
施設管理	水景施設	噴水 カスケード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・噴水・カスケード：水抜き清掃（年14回以上）、残留塩素検査（夏季は毎日3回）及び塩素補充（適宜）</li> <li>・噴水設備保守点検：ポンプ・濾過装置・噴水・照明等の機能・動作等点検（年4回）、水質検査（年1回）</li> </ul> ※故障時は直ちに応急処置・補修を行い、常に良好な作動と美観及び衛生状態を維持します。										
	便所	園内全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別清掃（年1回）：天井・壁を含む便所全体の清掃、排水管洗浄、尿石除去</li> <li>・日常清掃（年314回以上）：ブース内・小便器・洗面台・床等の簡易清掃及びペーパー補充</li> </ul> ※便所の衛生に努め、利用者が快適にご利用して頂けるような便所の管理を行います。										
	給水施設	公園全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受水槽点検・清掃・水質検査：年1回</li> <li>・給水設備保守点検：年12回</li> </ul> ※施設が常に良好な状態となるよう、それぞれの設備点検等を行い、不具合があれば、直ちに応急処置・補修を行います。										
	排水施設	園内全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・し尿浄化槽清掃点検（年3回、場所により年1回）：浄化槽の清掃・排水装置の機能点検</li> <li>・排水施設清掃（年3回）：側溝や樹の特別清掃</li> <li>・昆虫成長抑制剤を雨水樹に投入（4月から10月まで）</li> </ul> ※園内の排水施設の機能維持を図ります。										
	ゴミ処理施設	北地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検年3回、総合点検年1回：廃棄物処理設備の保守点検</li> </ul> ※ゴミ処理施設の良好な機能維持に努めます。										
	園路・広場	園内全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園地清掃：年104回以上（ゴミ箱清掃：年190回以上）</li> <li>・廃棄物処理：適宜</li> </ul> ※施設の良好な管理、快適な公園の提供を目指します。										
	警備	園内全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中は、スタッフによる巡回を毎日1回以上、夜間は警備員による巡回を行います。</li> </ul> ※トラブル等が発生した場合は、直ちに公園センター長へ連絡するとともに、常駐場所（お台場海浜公園）より応援人員が駆けつけ、対応処理を行います。										
	その他の施設	園内全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園灯点検：月1回</li> <li>・消火設備点検：年2回</li> <li>・自家用電気工作物点検：年12回</li> <li>・空調設備保守点検：年2回</li> <li>・自動扉保守点検：月1回</li> <li>・公園管理所清掃：月1回以上</li> </ul> ※施設が常に良好な状態となるよう、それぞれの設備点検等を行い、不具合があれば、直ちに応急処置・補修を行います。										